

水辺に遊ぶ会通信

MIZUBE NI ASOBU KAI

No. 19

2004・春の号

発行
水辺に遊ぶ会

大分県中津市中央町2-8-35
TEL&FAX. 0979-23-5320

てつがい貝

▼春というには少し寒い頃の朝、アヤ

シイ干潟調査隊の隊長の家に隊員

の「氏から一通のFAXが届いた。「デ

カイカイ、イルカイ」(※訳大きい貝

が捕れたが欲しい?」「そら、欲しい」。

水辺に遊ぶ会2004年度の活動は「財団法人イ

オン環境財団」より一部助成を受けています。

▼翌朝早朝、隊長の家の前には、大きな貝やら米やら野菜やらがたっく

さん置いてあつたそう。そして去つて

いくお地蔵さんの後ろ姿が...。

くれたものだ。この貝の名は「タテ貝」。

全国共通の呼び名は「タイラギ」だ。

最近テレビでよく聞く名前だよね。

▼この貝がどのくらい巨大かというと、子どもの頭がすっぽりと隠れてしまうく

らい大きい。重さもスゴイ。こんな巨大な

貝が中津の海底に突き刺さっていや、によ

きによぎと生えている姿を想像すると、

すごくフンギ。アサリが捕れず、その母な

る力が心配される中津の海だが、まだま

だ頑張っているんじゃないかな。だって、こ

んなに大きな貝を育てられるんだから。

▼都会では高級寿司ネタだというタ

イラギは貝柱を刺身で

食べる。隊長のおサカナ料

理の師匠であるKYO-YOSHI

ママによると「ヒモ」「キモ」は

よく洗つて適当な大きさに切り、湯

がいてから、ポン酢醤油やワサビ醤油

で食べるのだとか。さっそくチャレンジ。これ

がまたウマイ! 最近はスーパーの鮮魚コーナーに、貝柱を取つたあのタイラギの身が並んでいたりするので、是非お試しあれ。でもかい貝殻

が観たい触りたい方は事務局までご一報を。

タイラギ

40セシチ

■水辺に遊ぶ会の活動報告

(2004. 1. 1~2004. 3. 31)

- 2004. 1. 9 中津市長に面会 中津干潟レポート2003提出
- 2004. 1. 14 吉富小学校 4年生環境学習ゲストティーチャー
- 2004. 1. 16 吉富小学校 4年生 佐井川河口干潟観察会
- 2004. 1. 19 雑誌 FRONT 取材
- 2004. 1. 22 舞手川河口視察案内
- 2004. 1. 24/25 冬鳥(シギチドリ・ズグロカモメ)調査
- 2004. 1. 24/25 大山川シンポジウム参加
- 2004. 2. 7 自然ふれあい活動リーダー研修会 講師・参加
- 2004. 2. 8 ズグロカモメ調査会
- 2004. 2. 17 舞手川河口視察案内
- 2004. 2. 18 みなとまち女性会議出席
- 2004. 2. 20 今津公民館女性学級講師ごみゼロおおいたTOS取材
- 2004. 2. 24 中津市一般廃棄物最終処分場建設検討委員会出席
- 2004. 2. 26 国土交通省里浜づくり研究会意見交換会出席
- 2004. 2. 28 ごみゼロおおいた推進隊研修
- 2004. 2. 29 中津干潟調査 大新田地区舞手川周辺環境整備協議参加
- 2004. 3. 6 九州環境教育ミーティング 分科会事例報告
- 2004. 3. 20/21 九州自然協議会 海浜植物調査研修

水辺に遊ぶ会2004年度の活動は「財団法人イ

オン環境財団」より一部助成を受けています。

会員募集中!
年会費1000円
事務局まで
お問い合わせ下さい。

★水辺に遊ぶ会は、「ごみゼロおおいた推進隊」に参加しています。

■花粉症歴二十年の私の鼻には、民間療法は何を試しても効き目なし。でも、運命を共にする私と猫のストーリーの本格的始まりとなりました。(あなたね、海を歩いているときは鼻水止まるんだな。フンギ!)

■生まれて半年で発情期を迎えた我が家の中のちび猫りり。避妊手術終わって迎えに行つたら震えて待つてた。わーん。



4月14日は干潟を守る日! チラシを見てね!!

大新田ビーチクリーン
4月18日(日)・6月13日(日)

伝言板

干潟を守る日
観察会・5月2日(日)

MIZUBE ライブライナー

里海に暮らす



里海
暮
す

海辺の再生を求めて、
日本人の生き方を探る

著者:瀬戸山玄(ふとし)
発行:岩波書店 定価:2,400円

「海辺が瘦せて都會が肥える」というイメージを持つに至った著者の原体験や深い洞察がしみわたる。

「自然における主役は水と空気と山河であり、海と森とが醸し出す世界であり、その脇役として夥しい数の生命が水辺に養われているのだ」

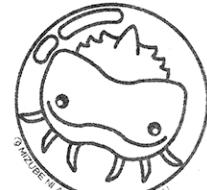
—本文あとがきより

海の自然再生ハンドブック
その計画・技術・実践
監修:国土交通省港湾局
著:海の自然再生ワーキンググループ
発行:ぎょうせい 定価:15,238円

海の自然再生ハンドブック

…その計画・技術・実践…

監修:国土交通省港湾局
著:海の自然再生ワーキンググループ
発行:ぎょうせい 定価:15,238円



2004年度も水辺に遊ぶ会の活動に
あたたかご支援をお願いします!

●年会費納入の季節になりました。
水辺に遊ぶ会の活動と中津干潟の保全に
ご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。

水辺に遊ぶ会MUSEUM

水辺に遊ぶ会ミュージアムは「建物のない博物館」です!

<http://www.geocities.jp/kabunyukun/index.html>

ホームページものみてみてね!

ご意見・ご感想など、みなさまの声をお待ちしています。

URL:<http://www.max.hi-ho.ne.jp/y-ashikaga/>
e-mail:mizube1999@yahoo.co.jp

口説き文句が艶っぽいアーティスト踊りの起源をたどれば、海を越えてやってきた異文化の香りがする。この風情に満ちた風俗も、歌い手が消えれば共に消える運命なんだろうか。

「まつカセ」を探して

▼私にとって「マツカセ」という言葉 자체が奇異でたまらない。マツカセ踊りは盆踊りの定番として大分県北全体に広がっている。しかし私は他県出身なので何分ピクニックとこない。そのためむやみに現在この音感にこだわってしまいます。これは混亂の極みの真っ最中。

▼なぜ私は「マツカセ」に固執するのか・・・それはある夜、寝ぼけまなこで見たテレビ番組「海が運び育てた伝統文化」のせいである。出演者が自由に話す形式の番組の中で、私の耳に飛び込んできた興味深い話。日本全国海辺の町にはさまざまな漁法があるが、九州は対馬の漁法に「佐野網」を使つたものがある。これは現在大阪・泉州佐野市周辺で江戸時代頃に行われていた地引き網漁法のこどもの漁だが、対馬でもイワシが捕れると、その網もつてはると言ふので、そのまま漁場を借りて網をばる出かけて行った結果、対馬での佐野網が定着していったらしい。このように魚場を借りて網を入れ、魚を収穫して歩く「任せ網」と総称される一種の漁業者集団が、日本のあちこちで活躍していくうちに、海を媒体としたさまざまな文化交流に至ったんだよ。

▼といった趣旨から短絡的に盆踊りの「マツカセ」と、任せ網の「マツカセ」を結びつけてしまつた私は、身動きひとつできない、くぎづけ状態となってしまいました。ところがこのキーワード「マツカセ」

新しい文化は、海の向こうからやってきた。良きことと悪しきことも。遠い昔、海を越えてこの土地に伝えられた様々な出来事を、ちよとのぞいてみたくない?



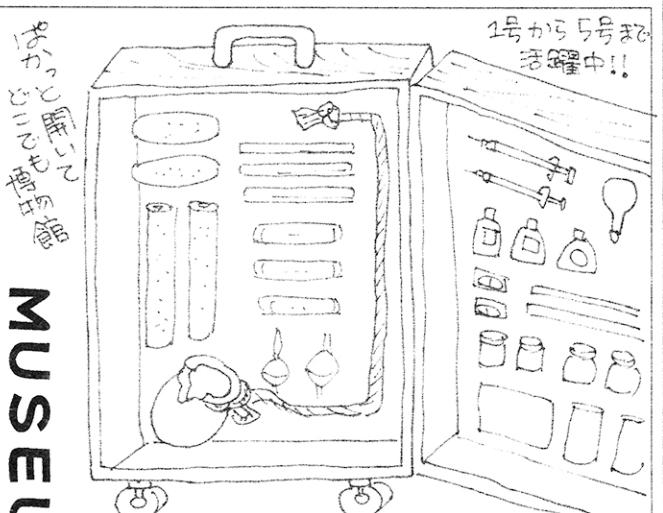
そのものの意味は「まかせの変化語」。まかせておけの意で、何かを請け合って発する掛け声であり、盆踊りの方の「マツカセ」は「はやし言葉」「まつかせ」が由来である」と識者は記しているのみ。いざやがうえにもワタクシの混乱は増すばかり。一体どこから解いていいければここから抜け出せるのか!

▼次号にご期待下さい!



ヘリテコグルメ

日田地方では カウニナのことを
コヒナと呼び、昔はタニバケ源
だったらしい。
夏休みたちになると
川の中の石に
いせいに這い上る
くらいらしい。
みそ汁
うつわ
美味
発見



MUSEUMグッズ紹介



水辺に遊び会の
海岸奉行が4年
の歳月をかけて集めた
コレクションの巻物。
どちらでも持ち運べ
らくらく。
ほかがごめんなさい。
つかのなかから世界が見える。
貸出OK

トトナミをばさんと思い出を語る

私の大新田時代（その八）

4. 心に残っている行事

3. 白鬚神社のお祭り

冬祭りは十二月十七、十八日。新しく出来た餅米で餡入りのお餅をつき、神様に供え一杯詰めた重箱を持って他の町村に住む親戚にお祭りのご案内に行く。親戚の人は十七日の夜いらして家でもてなしをうける。次の日は神社で神樂。いろいろ神楽が奉納されたが「湯立て」という神樂は見たことがあった。由来はよく知らないが、神社の広場を注連縄で開いた中央の大釜にお湯をわかし、その周囲で神樂を舞う。大がかりで勇壮な神樂だった。この神樂は毎日はなかつたように思う。「今年は湯立てがあるそうな」と前から皆期待していたよう記憶している。

春祭りは二月十七、十八日。寒い季節で必ずといつていいほど毎年雪が散らつき、その中で拝殿で舞う神樂を見た。新年早々で神樂の奉納者が多く、特に新婚者の奉納が多くた。夜遅くまで賑やかだった。